

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人 名	高井 吉明 先生 (楽しい理科工作と理科演示実験の達人)	所属	名古屋大学
実施 校	豊田市立稲武小学校		
実施 日	平成21年10月15日(木曜日)		
実施学年・学級	3年、6年、特別支援学級(計40人)		
教科等名	生活・図工・理科	単元・題材名	私たちの生活とふしぎ
授業の目標	達人による不思議な演示実験の体験から理科への興味を広げる。		
授業の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 達人の紹介を聞く。(教師) 2 達人の演示実験(サイエンスショー)を見る。(達人) 「液体窒素と空気の中身が液体や固体になる」 「ゴムボールや生花が液体窒素の中に入るとどんなふうになるか」 3 どんな原理を使って不思議なことが起こっているか説明を聞きながら動きや仕組みを確認する。(達人) 4 各学年に分かれて制作活動をする。 6年 電池と磁石・銅線のみでつくる簡単なモーター製作(達人・担任) 3年 フロッピーディスクと風船を組み合わせたホバークラフト製作(達人・担任) 5 制作した器具を使って実際に試してみる。(達人・担任) 6 達人に質問をする。(達人・担任) 7 お礼の言葉を述べる。 	  	
児童生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験はこんなに楽しいものなのだなと思った。 ・ もっといろいろな実験をしたくなった。 ・ いろいろなことを知りたくなった。 ・ 液体窒素をこぼしても消えてしまうのがふしぎだった。 ・ 液体窒素や酸素のことをもっと調べてみたい。 ・ 気体も固体や液体になるとは知らなかった。 ・ 知らなかったことがたくさんあったが、達人が分かりやすく教えてくれたので楽しく学べた。 		
教師の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学生の時期にびっくりするようなことを演示していただいたり、実際にやらせていただいたりして、科学に興味をもつきっかけ作りをしていただいた。一生忘れないと思う。 ・ 学校ではなかなか準備ができない材料を使い、子どもたちが興味をもって取り組めた。また、説明が分かりやすく、特別支援学級の児童、3年生、6年生と学年が離れていても全員が興味をもてた。材料を揃えるところから準備、片付けまで大変ご尽力いただき、感謝している。 		